

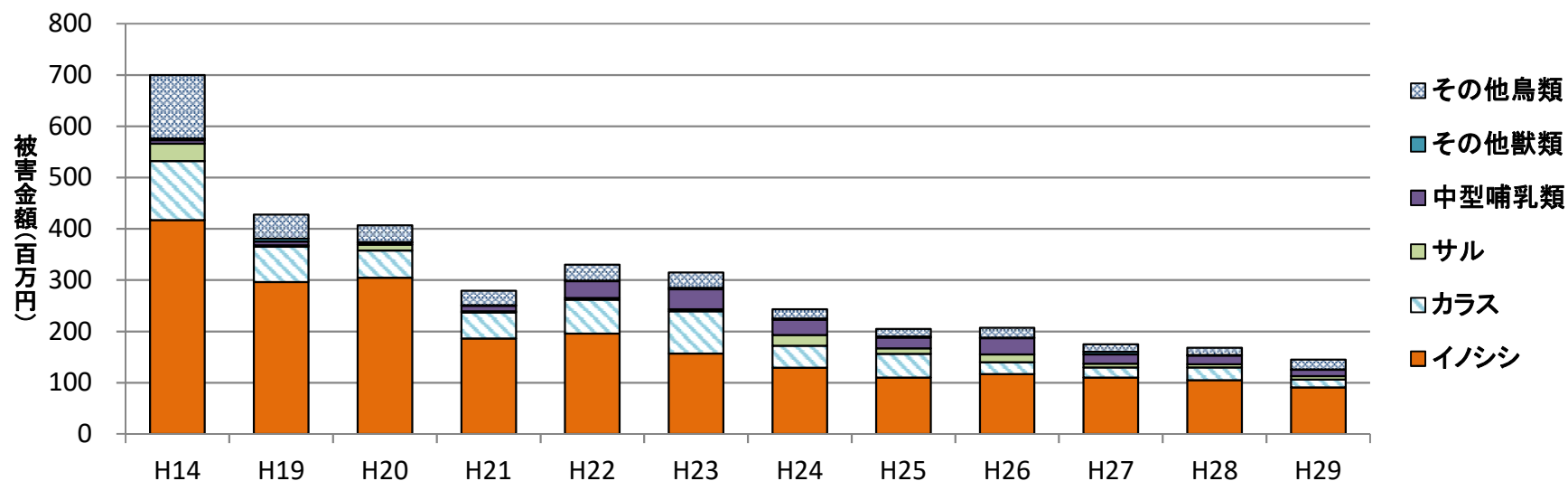
県内の野生鳥獣による農作物被害の概況

- 野生鳥獣による農作物被害金額は、ここ20年でピークのH14年度の5分の1まで減少。
- 被害のうち、全体の6割がイノシシ、1割がカラス及び中型哺乳類となっている。
- 侵入防止対策、捕獲対策、棲み分け対策の総合的な対策が進み、被害が減少している。

○農作物被害金額の推移

(単位:百万円)

	H14	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
イノシシ	417	297	305	186	196	157	129	110	117	110	105	91
カラス	115	69	53	51	66	82	43	46	23	20	25	15
サル	34	3	11	2	3	4	21	11	15	7	6	7
中型哺乳類	7	7	4	11	33	39	30	21	32	18	17	12
その他獣類	3	6	1	1	1	3	2	2	1	5	1	1
その他鳥類	124	47	33	28	31	30	18	15	19	15	14	19
合計	700	428	407	279	330	315	243	205	207	175	168	145



- 中型哺乳類: タヌキ、アナグマ、アライグマ
- その他獣類: ウサギ、イタチ、ネズミなど
- その他鳥類: ヒヨドリ、ドバト、カモ類、スズメ類、サギ類など